

シヨシ 阪急メンズ・トキヨー ヒトとの協業ブランド順調

シャツメーカーのヒトヨシ(熊本県人吉市)が、阪急メンズ・トキヨーと協業して今秋から発売した「ヒトヨシ」(HITOYOSHI)がベストセラーになっている。10月15日のオープン後、形態安定でもなく、有名ブランドでもないシャツが、1カ月未満で1回転する売りの上げで、その後も順調に推移している。

ヒトヨシは東京の銀座と丸の内

内で紺やグレーのスーツにネクタイをして働く30〜40代の男性をターゲットに、高級な白いドレスシャツに絞っているのが特徴。素材は綿100%の100

番手双糸。商品は、織り柄やワイドスフレッド、ボタンダウンなどの様子の違いを含めて10型のみ。

立地裁断にこだわりの、熊本本社工場で生産する。「通常、中間業者を避すと小売価格は2万円前後になるが、売り場と直結することで約半分に抑え、9975円で販売している」という。店頭と工場をオンラインで結び、毎週、売り上げデータを工場に送り、2週間で売れた商品をフォローしていることも好調な売れ行きを支えている。